

Mizuho Daily Market Report

2023/9/4

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	145.43	146.22	+0.68	▲0.22
EUR	1.0855	1.0780	▲0.0063	▲0.0016
AUD	0.6477	0.6456	▲0.0028	+0.0052
SGD	1.3504	1.3527	+0.0015	▲0.0034
CNY	7.2605	7.2663	+0.0075	▲0.0209
MYR	4.6428	4.6462	+0.0077	+0.0055
THB	35.05	35.00	▲0.00	▲0.10
IDR	15242	15240	+10	▲55
PHP	56.54	56.60	+0.00	+0.02
INR	82.70	82.72	▲0.07	+0.06

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.179%	+7.1 bp	▲5.7 bp
日本(10年)	0.633%	▲1.8 bp	▲2.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.549%	+8.3 bp	▲1.2 bp
オーストラリア(5年)	3.770%	▲1.7 bp	▲13.7 bp
シンガポール(5年)	3.106%	+0.0 bp	▲11.5 bp
中国(5年)	2.433%	+3.5 bp	+4.8 bp
マレーシア(5年)	3.587%	+0.1 bp	▲1.4 bp
タイ(5年)	2.541%	+1.4 bp	+1.3 bp
インドネシア(5年)	6.158%	▲2.7 bp	▲19.5 bp
フィリピン(5年)	6.043%	+0.0 bp	▲1.8 bp
インド(5年)	7.164%	+0.7 bp	▲3.5 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,837.71	+0.3%	+1.4%
N225(日本)	32,710.62	+0.3%	+3.4%
STOXX50(ユーロ圏)	4,282.64	▲0.3%	+1.1%
ASX(オーストラリア)	4,069.21	+0.2%	+1.8%
FTSTI(シンガポール)	3,233.30	+0.0%	+1.4%
SSEC(中国)	3,133.25	+0.4%	+2.3%
KLSE(マレーシア)	1,463.43	+0.8%	+1.3%
SETI(タイ)	1,561.51	▲0.3%	+0.1%
JKSE(インドネシア)	6,977.654	+0.4%	+1.2%
PSE(フィリピン)	6,181.06	+0.1%	+0.3%
SENSEX(インド)	65,387.16	+0.9%	+0.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	284.36	+0.9%	+2.2%
金	1,940.06	▲0.0%	+1.3%
原油(WTI)	85.55	+2.3%	+7.2%
銅	8,479.25	+0.9%	+1.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	145.80	—	146.90
EUR/USD	1.0770	—	1.0950
AUD/USD	0.6360	—	0.6500
USD/SGD	1.3490	—	1.3610
USD/CNY	7.2560	—	7.2980
USD/MYR	4.6350	—	4.6930
USD/THB	34.95	—	35.40
USD/IDR	15220	—	15330
USD/PHP	56.20	—	56.88
USD/INR	82.45	—	83.00

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は145円台半ばでオープン。序盤はドル買い優勢の展開だったが、仲値近辺からドル人民元の急落につられ、ドル円は145円台前半まで下落。一巡後は、再びドル買い地合いとなるどじり高に推移し、145円台後半で欧州へ渡った。アジア通貨はアジア時間においては米8月雇用統計の発表を海外時間に控える中値動きは限定的となったが、NY時間においては全般的なドル買いの流れとなりアジア通貨は軟調推移となった。

海外市場のドル円は145円台前半でNYオープン。NY時間朝方に発表された注目の米8月非農業部門雇用者数が予想を上回ったものの、平均時給が予想より低下している内容や、米8月失業率が予想より悪化している結果が懸念され、144円台半ばまで急落する。売り一巡後は、米金利が上昇している展開に反応し、買戻しの展開となり、145円台前半まで反発。続いて発表された米8月ISM製造業景況指数と支払価格の部分では予想を上回り、ドル買いが強まり、145円台後半まで上げ幅を拡大する。NY時間午後には146円台前半での底堅い推移が続く水準にてクロスした。

【金利】

金利市場は長期にかけて金利上昇となり、イールドカーブはスティープ化した。NY朝方発表となった米8月雇用統計の結果は、雇用者数変化は予想を上回る内容となったが(前回分下方修正)、失業率が上昇し、賃金も予想を下回るなど全体的に落ち着きを示す内容となった。市場は発表後金利低下で反応したが、その後はFEDの思惑通りのソフトランディングを示唆する結果であるとの見方となったことから、引けにかけての金利は上昇。10年債利回りは、一時4.20%に迫るところまで上昇。

【予想】

本日のドル円は底堅い値動きを予想。注目された米8月雇用統計の結果はまちまちの結果であり利上げ観測を高める結果にはつながらなかったもののドル売りの流れは一時的にとどまり、その後は良好な米8月ISM製造業景況指数の結果を受けドル買いが強まった。本日はNY休日のため様子見ムードが強まると想定されるが方向感としては金曜日の流れを引継ぎドル買い優勢の展開を予想する。

【本日の予定】

(日本) 8月 マネリ-ベース
(アジア) 2Q NZ 交易条件指数
(アジア) 2Q 豪 在庫 / 企業営業利益
(アジア) 8月 豪 全ホルンインスティテュート インフ
(アジア) 休場 ベトナム
(欧州) 7月 独 貿易収支
(欧州) 8月 西 失業者数変化
(欧州) 9月 ユーロ圏 センティックス投資家信頼感
(米国) 休場

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。